

IV 研究活動

農場では、教員と技術職員が一体となってフィールド農学に関わる様々な研究および技術開発を推進している。また、農場は、フィールド農学の研究施設として、学部教員あるいは学部学生や大学院生の研究に広く活用され、その成果は分子生物学から農業現場直結型まで広い範囲に亘っている。

1 研究課題

1) 農場の研究課題

- ・合鴨農法を用いた健康食品「黒米」の栽培（共同研究）
- ・観賞用切り花栽培における品質管理（共同研究）
- ・タマゴイモの生育に関する研究
- ・ヤムイモ類の染色体に関する研究（共同研究）
- ・ジャガイモの色素に関する研究（共同研究）
- ・黒毛和牛種の低コスト生産技術の開発
- ・農業副産物の資料利用に関する研究
- ・暖地型牧草のサイレージ発酵に関する研究

2) 農場施設を利用した学部研究室の研究課題

(1) 学内農場農事部圃場を利用した研究課題

(作物学研究室)

- ・カンショの品質及び生産性に関する研究
- ・カンショの栽培法に関する研究
- ・水稻の温度反応に関する研究
- ・水稻の遺伝資源に関する研究

(熱帯作物学研究室)

- ・水稻の品種分化に関する生理生態的解析
- ・キャサバ栽培特性の把握
- ・マメ科植物の窒素固定に関する研究
- ・テフの乾物生産に関する研究

(植物育種学研究室)

- ・アワの形態調査と品種保存
- ・アワの突然変異に関する遺伝分析
- ・サツマイモの耐病性に関する遺伝分析および形態調査
- ・水稻の耐病性に関する遺伝分析
- ・水稻の遺伝資源に関する研究
- ・アブラナ科及びマメ科植物の成長モードに関する実験
- ・ジネンジョとウコンの遺伝解析に関する研究

(植物分子生物学研究室)

- ・マメ科作物の根粒形成と植物ホルモンの関わり
- ・葉菜類、根菜類他作物の生育に対する植物ホルモンの効果

(果樹園芸学研究室)

- ・極早生ウンシュウとポンカンの根域制限試験
- ・ポンカンとタンカンのゼロエミッション試験
- ・ポンカン、キンカン、実験材料の栽培
- ・ブルーベリーの栽培
- ・研究供試用のコンテナおよびポット植えのポンカン、タンカン等100樹を置くため
- ・マスカディンブドウ（繁殖試験用）の試作

(蔬菜園芸学研究室)

- ・ニンニク系統維持及び系統類縁関係の解明
- ・トレピスの生理、生態の解明
- ・ダイコンの黒芯発現に関する品種比較試験

- ・桜島ダイコンの育種及び栽培実験
- ・桜島ダイコン採種法の研究

(観賞園芸学研究室)

- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種
- ・ツバキ属植物の花色の遺伝
- ・トルコギキョウ, デルフィニウムの新花色の育種
- ・トルコギキョウの新花型・新花色の育種と生産
- ・ツツジ類の生態型と花色の育種
- ・スイートピーの花色遺伝の解析

(害虫学研究室)

- ・チャノホソガの人工飼料の開発と顆粒病ウイルスの増殖
- ・ナス科植物上におけるハダニ類の種構成
- ・卵寄生蜂トリコグラマ類の分類と圃場での基礎生態
- ・昆虫ウイルスによるハスモンヨトウおよびアワヨトウの防除

(家畜管理学研究室)

- ・合鴨の水田放飼が黒米の生育および収量に及ぼす影響
- ・水田放飼合鴨への未利用資源の給与が産肉性に及ぼす影響
- ・水田を利用した山羊の輪換放牧に関する研究
- ・山羊放牧による水田畦畔の植生管理に関する研究
- ・緑餌給与によるガチョウの卵肉生産に関する研究

(応用糖質化学研究室)

- ・系統別サツマイモデンプンの物理的特性に関する研究

(農業環境システム学研究室)

- ・サトウキビ栽培体系の高度化に関する研究

(環境情報システム学研究室)

- ・分光反射特性を用いたスギの生育調査に関する研究

(農地工学)

- ・畑地の浸透能実験

(法文学部)

- ・市民を巻き込んだ環境教育の実践としての循環型農業

(2) 唐湊果樹園を利用した研究課題

(果樹園芸学研究室)

- ・新規除草剤の適用試験
- ・果樹栽培における炭化物利用に関する試験
- ・果実品質向上剤の検索試験
- ・タンカンとボンカン果実の発育および成熟の比較試験
- ・タンカン果実の発育と成熟に影響する要因の解明試験
- ・パッションフルーツの樹体発育, 花芽分化および結実に関する研究
- ・DNA 分析によるカンキツの類縁関係の解明
- ・カンキツ果実の機能性成分の解明
- ・カンキツの不和合性に関する研究
- ・アセロラの栽培・育種技術の改良

(3) 指宿植物試験場を利用した研究課題

(農場)

- ・施肥量の違いがトゲドコロの生育に及ぼす影響
- ・ダイジョの染色体観察手法に関する研究
- ・ジャトロファの栽培と開花に関する研究

(4) 入来牧場を利用した研究課題

(家畜管理学研究室)

- ・反芻家畜における地域未利用資源の飼料利用に関する研究
- ・山羊放牧による草地の植生管理に関する研究
- ・採草地へのシカ侵入防除に関する研究
- ・舎飼山羊群における飼料採食競合の緩和に関する研究

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖整理と遺伝子改変家畜作成に関する研究

(産業動物獣医学研究室)

- ・牛白血病 (BLV) 陽性牛における末梢血白血球の分類と病変との関係の研究

(臨床病理学研究室)

- ・黒毛和種のライソゾーム蓄積病の原因解明
- ・牛白血病ウイルスの遺伝子型並びに牛の抗病性遺伝子型の調査
- ・肝生検材料を利用した常在微生物の調査

(5) 学内農場畜産部を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理と遺伝子改変家畜作成に関する研究

(家畜育種学研究室)

- ・家畜, 家禽を用いた遺伝育種学的研究

(家畜管理学研究室)

- ・家畜の行動管理に関する研究
- ・未利用資源の飼料化に関する研究

(食品分子機能学研究室)

- ・食品成分を利用したメラニン形成抑制剤の開発
- ・食品成分の免疫能亢進機能の検討
- ・食品成分のアレルギー抑制効果の検討
- ・食品成分のアトピー抑制効果の検討
- ・食品成分の高血糖抑制効果の検討

(栄養生化学・飼料化学研究室)

- ・共役リノール酸の栄養生理機能に関する研究
- ・オポアルブミンの脂質代謝改善作用
- ・新規野菜の脂質代謝改善作用
- ・米残留農薬に関する研究
- ・焼酎粕の飼料化に関する研究

2 研究成果

1) 農場 (2008)

(1) 学会誌

なし

(2) 口頭発表

遠城道雄・勘米良祥多. 2008. トゲドコロの栽培学的研究 - 植え付け時期, 種イモ重, 貯蔵温度について - 熱帯農業研究 1 別号 2 . 47-48.

2) 農場を利用した研究成果 (2008)

(1) 論文

山本雅史・富田貴浩・遠城道雄・米本仁巳・石畑清武・久保達也・富永茂人. 2008. シロサボテ (*Casimiroa edulis* La Llave & Lex.) における葉緑体 DNA の均一性. 鹿児島大学農場研究報告. 30 : 7-9.

山本雅史・久保達也・富永茂人. 2008. 沖永良部島における在来シークリブ (*Citrus depressa* Hayata) 遺伝資源の調査. 鹿児島大学農場研究報告. 30 : 15-17.

山本雅史・松本亮司・上地義隆・伊地智 告・久保達也・富永茂人. 2008. 喜界島における在来カンキツのポリメトキシフラボノイド含量. 鹿児島大学農学部学術報告. 58 : 1-7.

Li, J.-B., Hashimoto, F*, Shimizu, K., Sakata, Y. 2008. Anthocyanins from the Red Flowers of *Camellia saluenensis*

- STAPF EX BEAN. J. Jpn. Soc. Hort. Sci. 77 (1): 75-79.
- Li, J.-B., Hashimoto, F*, Shimizu, K., Sakata, Y. 2008. Anthocyanins from red flowers of *Camellia* cultivar 'Dalicha'. *Phytochemistry*. 69: 3166-3171.
- 田野飛・坂巻祥孝・津田勝男・櫛下町鉦敏. 2008. マメハモグリバエとトマトハモグリバエの産卵および発育に対する3種寄主植物の適合性. *昆虫(ニューシリーズ)* 11(3): 135-143.
- Yasue H., Kitajima M., Tamada Y., Rezaeian A.H., Hiraiwa H., Hayashi T., Shimogiri T. 2008. Assignment of 115 genes from HSA9 and HSA14 to SSC1q by RH mapping to generate a dense human-pig comparative map. *Animal Genetics*. 39: 301-305.
- 高山耕二・内山雄紀・赤井克己・花田博之・伊村嘉美・中西良孝. 2008. 牧場採草地へのニホンジカ侵入に対する防護柵の影響. *鹿児島大学農学部農場研究報告*. 30: 11-14.
- 高山耕二・内山雄紀・赤井克己・廣瀬潤・片平清美・伊村嘉美・中西良孝. 2008. 電気柵設置による牧場採草地へのニホンジカの侵入防止効果. *西日本畜産学会会報*. 51: 33-38.
- 高山耕二・中村真紀子・内山雄紀・福永大悟・赤井克己・中西良孝. 2008. アイガモ農法におけるカラス害防除に関する研究. *西日本畜産学会会報*. 52: 83-88.
- 伊村嘉美・池山優樹・片平清美・高山耕二・中西良孝. 2008. 自給粗飼料を用いて放牧主体肥育した黒毛和種の産肉成績. *西日本畜産学会会報*. 51: 43-48.
- 魏紅江・高山耕二・中西良孝・萬田正治. 2008. 合鴨雛の水への順応性. *日本家禽学会誌*. 45: J74-J81.
- 高山耕二・中田好郁・松元里志・田浦一成・徳重悟・中西良孝. 2008. 調理・食残渣発酵飼料を利用した合鴨の卵肉生産. *日本有機農業研究年報*. 8: 121-134.
- Lu Meng Chao, Koji Takayama, Yoshitaka Nakanishi, Katsumi Hamana, Mitsuhiro Takagi, Chikara Kubota, Toshiyuki Kojima. 2008. Luteal lifespan and fertility after estrus synchronization in goats. *Journal of Veterinary Science*. 9(1): 95-101.
- 末吉武志・岩崎浩一. 2008. サトウキビ種苗生産装置の開発に関する研究. *農業生産技術管理学会誌*. 15(1): 17-22.
- Abdurraouf Omar Gaja, Katsumi Hamana, Chikara Kubota, Toshiyuki Kojima. 2008. Evaluation of the effect of a 3rd GnRH injection administered six days after the 2nd GnRH injection of Ovsynch on the reproductive performance of Japanese black cows. *J. Vet. Sci*. 9(3): 273-279.

(2) 口頭発表

- 沖山友哉・金森裕之・呉健忠・松本隆・一谷勝之・黒田充宏・渡部信義・安西弘行・久保山勉. (明治大学 2008年3月28日・29日). イネ雑種弱勢原因遺伝子 *Hwc1* の単離. *日本育種学会第113回講演会*. 13.
- 田浦悟・児玉裕也・稲崎新・一谷勝之・河邊弘太郎・小川紹文. (明治大学 2008年3月28日・29日). イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 *Xa16* のマッピング. *日本育種学会第113回講演会*. 136.
- 田浦悟・一谷勝之・河邊弘太郎. (滋賀県立大学 2008年10月11日・12日). イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 *Xa17* のマッピング. *日本育種学会第114回講演会*. 109.
- 高須有希子・一谷勝之・河邊弘太郎・佐藤宗治・田浦悟. (滋賀県立大学 2008年10月11日・12日). イネ第4染色体に座乗するイネ白葉枯病抵抗性遺伝子 *Xa1*, *Xa2* の位置関係. *日本育種学会第114回講演会*. 110.
- 一谷勝之・前田勇介・柳瀬朱・沖山友哉・田浦悟・佐藤宗治・金森裕之・呉健忠・松本隆・渡部信義・久保山勉. (滋賀県立大学 2008年10月11日・12日). イネ雑種弱勢原因遺伝子 *Hwc2* の高密度連鎖解析および候補遺伝子. *日本育種学会第114回講演*. 111.
- 田浦悟・古屋成人・後藤高広・B.T.Thuy・P.H.Ton・吉村淳. 2008. 北部ベトナムにおけるイネ白葉枯病. *日本熱帯農業学会第104回講演会*. 11-12.
- 白田祐希・田浦悟・佐藤宗治・一谷勝之. (鹿児島大学 2008年10月18・19日). イネ雑種黄化原因遺伝子 *hca1*, *hca2* の連鎖分析. *日本熱帯農業学会第104回講演会*. 15-16.
- 中河匡貴・川原大輔・一谷勝之・佐藤宗治・田浦悟. (鹿児島大学 2008年10月18・19日). イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統 XM5 の抵抗性遺伝子 *xa19* の高密度連鎖解析. *日本熱帯農業学会第104回講演会*. 17-18.
- Yang Xuehu, Shigeto Tominaga, Tatsuya Kubo, Masashi Yamamoto. 2008. The number of leaves per bearing shoot affects its fruit growth and sugar accumulation resulting in increase of total amounts of photosynthesis and SPS activity in leaves of tankan (*Citrus tankan* Hayata). 11th International Citrus Congress: 180-181. (Wuhan, China).
- 久保達也・石本知香・山下佳祐・熊本修・富永茂人・山本雅史. 2008. パッションフルーツ果実におけるクエン酸の分解とプロリンの集積. *園芸学研究*. 7 (別1): 323.
- 山本雅史・福田麻由子・古賀孝徳・久保達也・富永茂人. 2008. 喜界島(鹿児島県)の在来カンキツであるケラ

- ジミカン (*C. keraji*) の親の推定. 園芸学研究. 7 (別1): 33.
- 楊 学虎・原 彰宏・久保達也・山本雅史・富永茂人. 2008. 人工受粉がタンカン果実の結実, 肥大および品質に及ぼす影響. 園芸学研究. 7 (別1): 149.
- 保坂裕人・富永茂人・久保達也・山本雅史. 2008. 気温上昇が早生ウンシュウの生理落果に及ぼす影響. 熱帯農業研究. 1 (別2): 21-23.
- 山本雅史・古賀孝徳・福田麻由子・川口昭二・野村哲也・福留弘康・中野八伯・久保達也・富永茂人. 2008. 各種カンキツにおける果汁中のアスコルビン酸含量および抗酸化能. 熱帯農業研究. 1 (別2): 19-20.
- 橋本文雄・李 建賓・清水圭一・坂田雄介. 2008. 「サルウインツバキのアントシアニン色素」. 園芸学会秋季大会. P222. 三重大学.
- 橋本文雄. 2008. 「紅花ツバキの食品利用」. 農林水産省・アグリビジネス創出フェア. 東京国際フォーラム展示ホール (有楽町).
- 相島康助・橋本文雄・清水圭一・坂田祐介. 2008. 「秋咲き性ツツジの育種と花卉アントシアニン色素の遺伝」. 第20回植物色素研究会. 熊本大学.
- 近藤岳美・津田勝男・坂巻祥孝. 2008. チャノホソガ顆粒病ウイルスの LC50 と潜葉期幼虫における感染. 九州病害虫研究会第75回研究発表会.
- 二宮康誠・坂巻祥孝・津田勝男. 2008. 鹿児島大構内のミニトマト上に発生した *Tetranychus* sp. について. 九州病害虫研究会第75回研究発表会.
- 川口友美・田脇広大・河邊弘太郎・大澤恵美・田浦悟・下桐猛・前田芳實・岡本新・橋口勉. 2008. 野間馬の毛色について. 日本畜産学会第109回大会. 常磐大学 (茨城県).
- T. SHIMOGIRI, J. KAWAKAMI, A. MATSUMOTO, M. NISHIBORI, S. OKAMOTO, Y. MAEDA, H. YASUE. 2008. Expression of the chicken β -crystallin gene: Occurrence of sense and antisense RNAs in testis. XXXI International Conference of the International Society for Animal Genetics (ISAG2008). RAI Conference Center (Amsterdam).
- G. MSALYA, T. SHIMOGIRI, S. OKAMOTO, K. KAWABE, M. MINEZAWA, T. NAMIKAWA, Y. MAEDA. 2008. Bovine PRNP polymorphisms in Asian native populations and Japanese breeds., XXXI International Conference of the International Society for Animal Genetics (ISAG2008). RAI Conference Center (Amsterdam).
- 磯辺博文・Hla Hla Moe・山川寿将・下桐猛・河邊弘太郎・岡本新・岡本悟・前田芳實. 2008. AFLP を用いた日本ウズラの体重及び中足骨長に関わるゲノム領域の検索. 第59回西日本畜産学会. 佐賀大学 (佐賀県).
- 三宅慧輔・下桐猛・前田芳實・松元光春・河邊弘太郎・岡本新. 2008. ニワトリの耳朶色に関する遺伝学的研究. 第59回西日本畜産学会. 佐賀大学 (佐賀県).
- Si Lhyam Myint・下桐猛・河邊弘太郎・岡本新・大串正明・家入誠二・新城明久・前田芳實. 2008. 卵白タンパク質多型からみた日本鶏の特徴ならびにアジア在来鶏との比較. 第59回西日本畜産学会. 佐賀大学 (佐賀県).
- 工藤美雪・下桐猛・平岩秀樹・河邊弘太郎・岡本新・前田芳實・安江博. 2008. 家畜・家禽のゲノム DNA 抽出におけるガラスろ紙法の検討. 第59回西日本畜産学会. 佐賀大学 (佐賀県).
- 下桐 猛・西田奈央・丹羽孝介・西堀正英・工藤美雪・平岩秀樹・岡本新・前田芳實・徳永勝士・安江博. 2008. わが国で開発された DigiTag2 法によるニワトリ SNPs の同時検出. 日本動物遺伝育種学会第9回大会. 岡山大学 (岡山県).
- Hla Hla Moe・Shimogiri T・Kawabe K・Nishibori M・Okamoto S・Maeda Y. 2008. Genotypic frequency in Asian native chicken populations and gene expression using *insulin-like growth factor 1 (IGF1)* gene promoter polymorphism. 日本動物遺伝育種学会第9回大会. 岡山大学 (岡山県).
- 内山雄紀・赤井克己・木山孝茂・伊村嘉美・高山耕二・中西良孝. 2008. 牧場採草地におけるニホンジカの侵入防止に関する研究～省力かつ効果的な電気柵の設置方法に関する検討～. 日本家畜管理学会・応用動物行動学会合同2008年度春季研究発表会. 44(1): 44-45.
- 花田信太郎・岩崎 ゆう・高山耕二・伊村嘉美・中西良孝. 2008. 山羊への飼料刷り込みとその放牧地内雑草防除への応用に関する研究. 第7回日本山羊研究会 発表要旨集. 5-6.
- 主税裕樹・高山耕二・中西良孝. 2008. 舎飼い山羊群における飼料採食競合に関する研究. 第7回日本山羊研究会発表要旨集. 7-8.
- Y. Nakanishi, H. Uehara, K. Takayama, N. Yasuda. 2008. Effect of Japanese bead-tree (*Melia azedarach* var. *subtripinnata*) on gastrointestinal parasites in goats. Proceedings of the 13th Animal Science Congress of the Asian-Australasian Association of Animal Production Societies. 475.
- 高山耕二・石井大介・内山雄紀・吉田美代・中西良孝・廣瀬 潤・片平清美・伊村嘉美・赤井克己. 2008. 電気柵の設置方法の違いが牧場採草地へのシカ侵入に及ぼす影響. 西日本畜産学会報2008年度(第59回)大会号.

67.

- 主税裕樹・高山耕二・中西良孝. 2008. 舎飼い山羊群への新参個体導入が敵対行動と飼料採食競合に及ぼす影響. 西日本畜産学会報2008年度(第59回)大会号. 69.
- 丸山翔一郎・中村真紀子・田浦一成・松元里志・高山耕二・中西良孝. 2008. アイガモにおける巢外産卵行動の抑制に関する研究. 西日本畜産学会報2008年度(第59回)大会号. 72.
- 山本梨沙・主税裕樹・高山耕二・中西良孝. 2008. 舎飼い山羊群における飼料採食競合に関する研究. 第8回日本山羊研究会発表要旨集. 3-4.
- 神園巴美・田子山徹・大塚彰・林國興. 2008. プロイラーにおける焼酎粕分離濃縮液給与の影響. 西日本畜産学会20(西日本畜産学会報).
- 河野遊歩・小島敏之・窪田力・川畑明治・轟木淳一・川上太郎・大川雅之・大辻一也・木戸恭子・福英司. 2008. 牛における重水希釈法を用いた体脂肪率推定の試み. 日本獣医師会九州地区学会.
- Abdurraouf Gaja, Chikara. Kubota, Toshiyuki Kojima. 2008. Early pregnancy diagnosis using a novel transrectal ultrasonography protocol for Japanese Black cows. 日本獣医師会九州地区学会.

(3) 博士論文

- 李 建賓: Research on Anthocyanins of the Red Flowers of the Section Camellia Species.
- 田 野飛: 南九州の農業生態系におけるマメハモグリバエとトマトハモグリバエの生態学的研究
- 下桐 猛: 放射線雑種細胞(RH)パネルを用いた家畜遺伝子のマッピングとヒト-家畜比較地図の作成に関する研究

(4) 修士論文

- 岡元一也: ラッカセイの「蒸発散量 - 乾物生産量関係」と窒素固定
- 南さやか: 我が国暖地におけるキャッサバの栽培に関する研究
- 藪田 伸: イネ品種の日長反応特性に関する研究
- 山下雄志: サツマイモの生育・収量予測モデルに関する基礎的研究
- 後藤千寿: ヤケイおよびアジア在来鶏に関する遺伝学的研究
- 作村健彦: AFLPを用いた銘柄鶏のマーカー作出に関する研究
- 外山奈津紀: ニワトリの抗病性に関する遺伝学的研究
- George MSALYA: MOLECULAR GENETIC STUDIES ON THE PRION GENE OF CATTLE
- 西田理恵: 解繊処理竹材のサイレージ化とその乳生産への利用に関する研究
- 内山雄紀: 牧場採草地におけるニホンジカの侵入防止に関する研究
- 田邊俊雄: 銅の施用が水稻の登熟に及ぼす影響について

(5) 卒業論文

- 桑波田健太郎: イネの幼穂形成期における糖含有量の経時変化について
- 高田瑞穂: サツマイモの乾物生産に対する加里施用の逆数要因的作用の検出
- 田中賢一郎: サツマイモの乾物生産と乾物分配に及ぼす窒素施肥の影響
- 寺坂泉保: テフの乾物生産および水消費特性に関する基礎的研究
- 富永克弘: キャッサバの植え方の違いが収量に及ぼす影響
- 山内理恵: ササゲ菌核病発症の有無と窒素施用の多少が根粒着生と「乾物生産量 - 蒸発散量」に及ぼす影響
- 山本夕菜: 鹿児島におけるキャッサバ苗の冬季の維持について
- 前田勇介: イネ雑種弱勢遺伝子 Hwc2 の特定
- 前田基樹: パッションフルーツの開花, 結実と光合成速度に関する研究
- 足立龍弥: カンキツの自家不和合性に関する研究
- 曾我部暁: 倍数体作出によるアセロラ大果系の作出
- 原 彰宏: タンカンの結実特性に関する研究
- 福田麻由子: カンキツの DNA 分析による識別と機能性に富むカンキツ品種の探索
- 福元公成: パッションフルーツの品種識別に関する研究
- 山下佳祐: パッションフルーツの仮種皮組織の発達と果汁の集積および成分変化に関する研究
- 榎田麻衣: 古典園芸植物の大量増殖
- 日高一菜: デルフィニウムの薬培養による二倍体及び半数体の作出に関する研究
- 中村 優: トルコギキョウの効率的な形質転換系の確立と花色の複対立遺伝子関連因子の導入

- 松石梨絵：トルコギキョウの花色とアントシアニン・フラボノールの量的関係について
新牛込司：スイートピーの花弁中のアントシアニンについて
相島康助：ツツジ類の生態育種と花色多彩化に関する研究
近藤岳美：チャノホソガ顆粒病ウイルスの病原性と潜葉期幼虫における感染
二宮康誠：鹿児島大学構内のミニトマト上に発生した *Tetranychus* sp. について
松下智恒：温度変化によるチャノコカクモンハマキの発生予察
片野隆弘：ニワトリ塩基多型(SNP)を利用したマーカー作出に関する研究
川上純史：ニワトリデルタクリスタリン2遺伝子の発現に関する研究
工藤美雪：ニワトリ m-カルパイン遺伝子の多型と品種間比較に関する研究
田脇広大：野間馬の毛色に関する遺伝学的研究
角崎智洋：ウズラのリゾチーム多型に関する研究
源美勇司：鹿児島県産黒毛和種のサシに関わる遺伝子の探索
宮崎涼子：ニワトリゲノムにおける挿入・欠失情報からのマーカー作出に関する研究
仮屋修平：麹菌発酵飼料の反芻家畜への利用に関する研究 - 肉用種離乳牛の発育と健康状態に及ぼす長期給与の影響 -
飯盛 葵：解繊処理竹材サイレージが育成山羊の発育と飼料利用性に及ぼす影響
主税裕樹：舎飼い山羊群における飼料採食競合に関する研究
花田信太郎：山羊への飼料刷り込みとその放牧地内雑草防除への応用に関する研究
岩崎ゆう：山羊放牧による農地の持続的植生管理に関する研究
中村真紀子：合鴨卵の受精率向上に関する研究
石井大介：電気柵の設置方法の違いが牧場採草地へのニホンジカの侵入頭数に及ぼす影響
山本貴司：サトウキビ栽培体型の高度化 - 一芽苗の初期成長に関する基礎実験 -
塩賀由紀：黒毛和種経産牛における分娩後超早期の卵巣賦活が1年間の繁殖成績に及ぼす影響
坂本悦郎：銅の施用が水稻の収量および収量構成要素と外観品質に与える影響について
谷川幸則：登熟期の高温条件が水稻の根系活力に及ぼす影響
末永浩一郎：窒素の追肥時期の違いがイネの未熟粒発生に及ぼす影響
永山佳代子：植えつけ密度の異なる条件下におけるカンショの生育と塊根収量について
元井美穂：植えつけ密度の異なる条件下におけるカンショの塊根形状について
湯地優奈：異なる水分条件が栄養生長期のトウモロコシの地上部と根系の生長におよぼす影響
原 裕輔：異なる水分条件が栄養生長期のトウモロコシの蒸散と水利用効率におよぼす影響

(6) 著書

- 富永茂人・久保達也・山本雅史. 2008. 乾式メタン発酵残さの有効利用技術の開発. 農林水産技術会議事務局編, 研究成果 No.463, 農林水産バイオリサイクル研究 - 畜産エコチーム. pp.128-133.

(7) 商業誌

- 富永茂人. 2008. カンキツ園における最近の雑草管理と除草剤利用. 植調, 日本植物調節剤研究協会編, 42(7): 273-280.

3 研究助成

- 遠城道雄 (分担) 「西アフリカにおけるイモ類の再評価」科学研究費補助金 (基礎研究 (B))

4 学会等活動

日本熱帯農業学会, 日本作物学会, 園芸学会, 日本農作業学会, 日本育種学会, 日本草地学会, 日本畜産学会, 西日本畜産学会, 日本養豚学会

5 遺伝資源の保存

農場は、わが国における温暖地、亜熱帯、熱帯植物及びトカラ馬、野生化牛などの希少動物の遺伝資源保存センターとしての機能を有する。各付帯施設で保有する遺伝資源は下記のとおりである。

1) 唐湊果樹園

唐湊果樹園では、第22表に示すように、落葉果樹11種類52品種・系統、常緑果樹2種類125品種・系統、熱帯・亜

熱帯果樹 8 種類 34 品種・系統を保存している。

第22表 唐湊果樹園で保存している果樹遺伝資源リスト

樹種名, 学名または組み合わせ	品種・系統名
落葉果樹	
ナシ	
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	幸水
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	新興
モモ	
<i>Prunus persica</i> Sieb.	あかつき
<i>Prunus persica</i> Sieb.	日川白鳳
<i>Prunus persica</i> Sieb.	ちよひめ
スモモ	
<i>Prunus</i> sp.	メスレー
<i>Prunus</i> sp.	大石早生
ウメ	
<i>Prunus mume</i> Sieb.	南高
<i>Prunus mume</i> Sieb.	鶯宿
<i>Prunus mume</i> Sieb.	竜峡小梅
ブドウ	
<i>Vitis</i> sp.	キャンベル アーリー
<i>Vitis</i> sp.	デラウエア
<i>Vitis</i> sp.	ゴルビー
<i>Vitis</i> sp.	安芸クイーン
<i>Vitis</i> sp.	ロザリオ ロッソ
<i>Vitis</i> sp.	ロザリオ ビアンコ
<i>Vitis</i> sp.	翠峰
<i>Vitis</i> sp.	ハニー ビーナス
<i>Vitis</i> sp.	シャイン マスカット
<i>Vitis</i> sp.	瀬戸ジャイアンツ
カキ	
<i>Diospyrus kaki</i> L.	平核無
<i>Diospyrus kaki</i> L.	富有
<i>Diospyrus kaki</i> L.	次郎
<i>Diospyrus kaki</i> L.	禅寺丸
<i>Diospyrus kaki</i> L.	太秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	新秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	西村早生
<i>Diospyrus kaki</i> L.	マメガキ
<i>Diospyrus kaki</i> L.	ロウア柿
<i>Diospyrus kaki</i> L.	常葉柿
ブルーベリー	
<i>Vaccinium</i> sp.	ホームベル
<i>Vaccinium</i> sp.	ウッダード
<i>Vaccinium</i> sp.	ティフブルー
<i>Vaccinium</i> sp.	T100
<i>Vaccinium</i> sp.	クライマックス
<i>Vaccinium</i> sp.	パールリバー
<i>Vaccinium</i> sp.	オースティン
<i>Vaccinium</i> sp.	ブライトウエル
<i>Vaccinium</i> sp.	マグリラ
<i>Vaccinium</i> sp.	ジャジー
<i>Vaccinium</i> sp.	ブラーデン
<i>Vaccinium</i> sp.	ジョージアゲム
<i>Vaccinium</i> sp.	オニール

<i>Vaccinium</i> sp.	シャープブルー
クリ	
<i>Castanea</i> Miller	筑波
<i>Castanea</i> Miller	三原系
<i>Castanea</i> Miller	丹沢
イチヨウ (ギンナン)	
<i>Ginkgo biloba</i> L.	藤九郎
<i>Ginkgo biloba</i> L.	嶺南
<i>Ginkgo biloba</i> L.	久寿
ザクロ	
<i>Punica granatum</i> L.	在来系
クワ	
<i>Morus</i> sp.	しだれぐわ
<hr/>	
常緑果樹	
ビワ	
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	白茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	長崎早生
カンキツ	
<i>Citrus macroptera</i> Mont.	カブヤオ
<i>C. hystrix</i> DC.	ブルット
<i>C. latipes</i> (Swing.) Tan.	カシーパペダ
<i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	メキシカンライム
<i>C. limettioides</i> Tan.	スイートライム
<i>C. bergamia</i> Risso et Poit.	ベルガモット
<i>C. Montana</i> Tan.	ピロロ
<i>C. excelsa</i> Wester	レモンリアル
<i>C. medica</i> L.	ブッシュカン
<i>C. medica</i> L.	マルブッシュカン
<i>C. limon</i> (L.) Burm. f.	アレンユーレカ
<i>C. limetta</i> Risso	スイートレモン
<i>C. balotina</i> Poit. et Turp.	パロチンベルガモット
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	安政柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩王柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	チャンドラー
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	はやさき
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	紅まどか
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	水晶文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩白柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	麻豆紅柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	土佐文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	大橘
<i>C. pseudogulgu</i> Hort. ex Shirai	ジャガタラク
<i>C. paradise</i> Macf.	マーシュ シードレス
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	ハッサク
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	農間紅ハッサク
<i>C. medioglobosa</i> Hort. ex Tan.	ナルト
<i>C. natsudaidai</i> Hayata	川野なつだいだい
<i>C. natsudaidai</i> Hayata	紅甘夏
<i>C. ampullaceal</i> Hort. ex Tan.	ヒョウカン
<i>C. yamabuki</i> Hort. ex Y. Tanaka	ヤマブキ
<i>C. sulcata</i> Hort. ex Takahashi	サンボウカン
<i>C. kawachiensis</i> Hort. ex Y. Tanaka	カワチバンカン
<i>C. aurantium</i> L.	カブス
<i>C. aurantium</i> L.	回青橙

<i>C. aurantium</i> L.	斑入りダイダイ
<i>C. myrtifolia</i> Rafin.	キノット
<i>C. rokugatsu</i> Hort. ex Y. Tanaka	ロクガツミカン
<i>C. canaliculata</i> Hort. ex Y. Tanaka	キクダイダイ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ハムリン
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	トロビタ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	オリンダ バレンシア
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	タロッコ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	モロ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ピラリマ
<i>C. tankan</i> Hayata	垂水1号
<i>C. iyo</i> Hort. ex Tanaka	宮内伊予柑
清家ネーブル × クレメンティン	ありあけ
宮川早生 × トロビタオレンジ	清見
交雑親不詳のタンゴール	マーコット
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	ヒュウガナツ
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	オレンジ日向
<i>C. aurea</i> Hort. ex Tan	カワバタミカン
<i>C. ichangensis</i> Swing.	イーチャンジェンシス
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	山根
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	ユズ
<i>C. hanaju</i> Hort. ex Shirai	ハナユ
<i>C. sudachi</i> Hort. ex Shirai	スダチ
<i>C. spaerocarpa</i> Hort. ex Tan.	カボス
<i>C. nobilis</i> Lour.	クネンボ
<i>C. nobilis</i> Lour.	トクニン
<i>C. unshiu</i> Marc.	原木(4代目)
<i>C. unshiu</i> Marc.	青島温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	寿太郎温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	白川温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	十万温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	大津4号
<i>C. unshiu</i> Marc.	興津早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	宮川早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	かごしま早生
<i>C. keraji</i> Hort. ex Tan.	ケラジ
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	喜界ミカン
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	ナツクニン
<i>C. oto</i> Hort. ex Y. Tanaka	オートー
<i>C. reticulata</i> Blanco	吉田ボンカン
<i>C. reticulata</i> Blanco	薩州
<i>C. deliciosa</i> Ten.	地中海マンダリン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ゲンショウカン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ウスカワ
<i>C. tangerina</i> Hort. ex Tan	大紅ミカン
<i>C. clementina</i> Hort. ex Tan.	クレメンティン
<i>C. tachibana</i> (Mak.) Tan.	タチバナ
<i>C. kinokuni</i> Hort. ex Tan.	キノクニ
<i>C. sunki</i> Hort. ex Tan.	スンキ
<i>C. reshni</i> Hort. ex Tan.	クレオパトラ
<i>C. depressa</i> Hayata	シイクワシャー
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン(甘)
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン(辛)
<i>C. leiocarpa</i> Hort. ex Tan.	コウジ
<i>C. flaviculpus</i> Hort. ex Tanaka	キミカン

C. sp.	コズ
C. sp.	島みかん (黒島)
キング×地中海マンダリン	アンコール
クレメンティン×ダンシータンゼリン	フォーチュン
小西早生×フェアチャイルド	サガマンダリン
キング×ウンシュウミカン	カーラ
三保早生×クレメンティン	南香
今村温州×中野3号ポンカン	早香
クレメンティン×オーランド	ノバ
ミネオラ×クレメンティン	ページ
清見×中野3号ポンカン	陽香
清見×中野3号ポンカン	不知火
清見×ポンカンF - 2 4 3 2	はるみ
清見×アンコール	あまか
(清見×興津早生) × ページ	天草
(清見×アンコール) × マーコット	せとか
清見×興津早生	津之香
上田温州×ハッサク	スイートスプリング
ダンカングレープフルーツ×ダンシータンゼリン	ミネオラ
<i>C. madurensis</i> Lour.	シキキツ
C. sp.	辺塚ダイダイ
<i>C. sp</i>	小林みかん
キンカン	
<i>Fortunella hindsii</i> (Champ.) Swing.	キンズ
<i>F. margarita</i> (Lour.) Swing.	ナガキンカン
<i>F. japonica</i> (Thumb.) Swing.	マルキンカン
<i>F. crassifolia</i> Swing.	ニンボウキンカン
<i>F. obovata</i> Tan.	チョウジュキンカン
<i>F. margarita</i> X <i>F. crassifolia</i>	ぶちまる
カラタチ	
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ルビドー
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ヒリュウ
カンキツ近縁属	
<i>Microcitrus</i> X <i>C. madurensis</i>	ファウストリメディン
<hr/>	
熱帯・亜熱帯果樹	
マンゴー	
<i>Mangifera indica</i> L.	アーウィン
<i>Mangifera indica</i> L.	ゴールドデン リッペンス
<i>Mangifera indica</i> L.	ナム ドク マイ
<i>Mangifera indica</i> L.	メライン
パッションフルーツ	
<i>Passiflora edulis</i> Sims	サマークイーン
<i>Passiflora edulis</i> Sims	ルビースター
<i>Passiflora edulis</i> Sims	アマミノジャンボウ
アセロラ	
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	ハワイアン クイーン
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	レッド ジャンボ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	トロピカル ルビー
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	レーンボルグ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	マウナウィリ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	ハワイアン
アボカド	
<i>Persea americana</i> Mill	フエルテ
ゴレンシ	
<i>Averrhoa carambola</i> L.	ナナ スター

<i>Averrhoa carambola</i> L.	ボゴール
<i>Averrhoa carambola</i> L.	マレーシア
<i>Averrhoa carambola</i> L.	二林軟枝
<i>Averrhoa carambola</i> L.	竹葉
<i>Averrhoa carambola</i> L.	バンコク
<i>Averrhoa carambola</i> L.	カギ
シロサポテ	
<i>Casimiroa edulis</i> La Llave	マリブ キャンディー
ピタヤ	
<i>Hyocereus</i> L.	黄色系 赤色系
リュウガン	
<i>Euphoria longan</i> Stend	N93-6 カーラ ハエウ シーチョンブー エワイ ピオキウ サキップ タイウエン フンカク

2) 指宿植物試験場

当場では1918年の設置以来、現在に至るまで、熱帯・亜熱帯植物の収集・保存を行い、教育研究に利用するとともに、地域への普及を行っている。これまで、マンゴー、パッションフルーツなどの熱帯果樹類や熱帯産ヤムイモなどが、南九州で特産化されている。

遺伝資源植物として保存している植物数は、品種や系統も含めると約1,500種類である。これらは、鉢や露地植えで保存されており、面積ベースでは、温室の40%、ビニルハウスの32%、圃場の50%である。単純計算であるが、教職員はこれら遺伝資源植物の維持、管理に全体の作業の40%程度の時間を割いていることになる。一方で、遺伝資源植物からの収入は、全体の10%程度である。

遺伝資源植物の保存、評価、利用なども附属農場の重要役割のひとつであるが、教職員数と比較した場合の労力や予算的な面からもほぼ限界の状況である。とくに果樹類などは実生系など品種が明確でないものも多く、それらは、結実が見られないものも多い。地域農業への貢献のためにも、明確な品種と生産性の可能性がある熱帯・亜熱帯果樹類への切り替えを進めている。

第23表 指宿植物試験場で保存している主な植物遺伝資源リスト

科名	和名	学名
アオイ	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i> Sieb. et Zucc.
アオイ	フウリンブツウゲ	<i>Hibiscus schizopetalus</i> (M. T. Mast.)
アオイ	ハイビスカス	<i>Hibiscus</i> spp.
アオイ	ヒメブツウゲ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>drummondii</i> (Torr. et A. Gray) Schery
アオイ	ウナズキヒメフヨウ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>mexicanus</i> Schlechtend.
アオギリ	ピンボンノキ	<i>Sterculia nobilis</i> Sm.
アカテツ	サボジラ	<i>Achras zapota</i> L.
アカテツ	クダモノタマゴ	<i>Lucuma nervosa</i> A.D.C.
アカテツ	ミラクルベリー	<i>Synsepalum dulcificum</i> Daniell
アカテツ	アビウ	<i>Pouteria caimito</i>
アカネ	サンタンカ	<i>Ixora chinensis</i> Lam.
アカネ	イクソラ・ダフィー	<i>Ixora duffii</i> T. Moore
アヤメ	アメリカシャガ	<i>Neomarica northiana</i>

イネ	レモングラス	<i>Cymbopogon citratus</i> (DC.) Stapf
イネ	スズコナリヒラ	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino f. <i>albostrata</i> Muroi
イイギリ	ラブリーアップル	
イラクサ	ペリオニア	<i>Pellionia</i> spp.
イラクサ	アサバソウ	<i>Pilea cadierei</i> Gagnep. et Guillaum.
ウコギ	ホンコンカボック	<i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Hayata ex Kaneh.
ウラボシ	コウモリラン	<i>Platyserium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr.
ウルシ	マンゴー	<i>Mangifera indica</i> L.
オシロイバナ	ブーゲンビレア	<i>Bougainvillea</i> spp.
オトギリソウ	マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i> L.
ガガイモ	スタベリア	<i>Stapelia</i> spp.
カキノキ	ブラックサボテ	<i>Diospyros ebenaser</i>
カタバミ	スターフルーツ	<i>Averrhoa carambola</i> L.
カヤツリグサ	カミガヤツリ	<i>Cyperus papyrus</i> L.
キツネノマゴ	ルリハナガサ	<i>Eranthemum pulchellum</i> Andr.
キツネノマゴ	シロアミメグサ	<i>Fittonia verschaffeltii</i> (Lem.) van Houtte var. <i>argyroneura</i> (Coem.) Nichols.
キツネノマゴ	アトロプルブレウム	<i>Pseuderanthemum atropurpureum</i> (Bull) L. H. Bailey
キツネノマゴ	コダチャハズカズラ	<i>Tunbergia erecta</i> (Benth.) T. Anderson
キツネノマゴ	ベンガルヤハズカズラ	<i>Tunbergia grandiflora</i> (Rosb. ex Rottl.) Rpxb.
キョウチクトウ	アデニウム	<i>Adenium</i> spp.
キョウチクトウ	オオバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> L.
キョウチクトウ	ヒメアリアケカズラ	<i>Allamanda nerifolia</i> Hook.
キョウチクトウ	セイヨウキョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L.
キョウチクトウ	キバナキョウチクトウ	<i>Thevetia peruviana</i> (Pers.) K. Schum.
キントラノオ	アセロラ	<i>Malpigia glabra</i> L.
クスノキ	アボガド	<i>Persea americana</i> Milll.
クマツヅラ	ハリマツリ	<i>Duranta repens</i> L.
クマツヅラ	チャイニーズハット	<i>Holmskioldia sanguinea</i> Retz.
クマツヅラ	ランタナ	<i>Lantana camara</i> L.
クマツヅラ	コバノランタナ	<i>Lantana montevidensis</i> (K. Spreng.) Briq.
クマツヅラ	ペトレア	<i>Petrea vollubilis</i> L.
クロウメモドキ	インドナツメ	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.
クロウメモドキ	ナツメ	<i>Zizyphus jujuba</i> var. <i>inermis</i>
クワ	カンテンイタビ	<i>Ficus awkeotsang</i> Makino
クワ	インドゴムノキ	<i>Ficus elastica</i> Roxb. ex Hornem.
クワ	カシワバゴム	<i>Ficus lyrata</i> Warb.

研究活動

クワ	ガジュマル	<i>Ficus microcarpa</i> L. f.
クワ	オオイタビ	<i>Ficus pumila</i> L.
クワ	アコウ	<i>Ficus superba</i> Miq. var. <i>japonica</i> Miq.
ゴマノハグサ	ハナチョウジ	<i>Russelia equisetiformis</i> Schlechtend et Cham.
サトイモ	ヒトスジグサ	<i>Aglaonema costatum</i> N. E. Br.
サトイモ	アグラオネマ	<i>Aglaonema</i> spp.
サトイモ	クワズイモ	<i>Alocasia odora</i> K. Koch
サトイモ	オオベニウチワ	<i>Anthurium andreanum</i> Linden corr. Andre
サトイモ	サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott
サトイモ	ジャイアントスワンブタロ	<i>Cyrtosperma chamissonis</i> (Schott) Merrill
サトイモ	ホウライショウウ	<i>Monstera deliciosa</i> Liebm.
サトイモ	マドカズラ	<i>Monstera friedrichsthali</i> Schott
サトイモ	スパティフィラム	<i>Spathiphyllum</i> spp.
サボテン	ドラゴンフルーツ	<i>Hylocereus undatus</i>
シソ	クミスクテン	<i>Orthosiphon aristatus</i> (Blume) Miq.
シノブ	タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) K. Presl
ショウガ	ゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B. L. Burtt et R. M. Sm.
ショウガ	キフゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B. L. Burtt et R. M. Sm. 'Variegata'
ショウガ	フクジンソウ	<i>Costus speciosus</i> (J.Konig) Sm.
ショウガ	キョウオウ	<i>Curcuma aromatica</i> Salisb.
ショウガ	ウコン	<i>Curcuma longa</i> L.
ショウガ	ガジュツ	<i>Curcuma zedoaria</i> (Christm) Roscoe
スイカズラ	ゴモジュ	<i>Viburnum suspensum</i> Lindl.
ソテツ	ナンヨウソテツ	<i>Cycas circinalis</i> L.
ソテツ	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.
ツツジ	ケラマツツジ	<i>Rhododendron scabrum</i> G. Don
ツククサ	ムラサキオモト	<i>Rhoeo spathacea</i> (Swartz) Stearn
トウダイグサ	クロトン	<i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume
トウダイグサ	ハナキリン	<i>Euphorbia milii</i> Desmoul. var. <i>splendens</i> (Bojer ex Hook.) Ursch et Leandri
トウダイグサ	アオサンゴ	<i>Euphorbia tirucalli</i> L.
トウダイグサ	ナンヨウザクラ	<i>Jatropha integerrima</i> Jacq.
トウダイグサ	サンゴアブラギリ	<i>Jatropha podagrica</i> Hook.
トウダイグサ	セッカギンリュウ	<i>Pedilanthus tithymalodes</i> (L.)Poit.
トケイソウ	ムラサキクダモノトケイソウ	<i>Passiflora edulis</i> Sims.
トケイソウ	パッションフルーツ	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>
ナス	ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia australis</i> Benth.
ナンヨウスギ	シマナンヨウスギ	<i>Araucaria heterophylla</i> (Salisb.) Franco
ノウゼンカズラ	ハリミノウゼン	<i>Clytostoma callistegioides</i> (Cham.) Bur.
ノウゼンカズラ	ジャカラランダ	<i>Jacaranda</i> sp.
ノウゼンカズラ	イペ	<i>Tabebuia</i> sp.
パイナップル	パイナップル	<i>Ananas comosus</i> (Linn.) Merr.

パイナップル	チランジア	<i>Tillandsia</i> spp.
パイナップル	サルオガセモドキ	<i>Tillandsia usneoides</i> (L.) L.
バショウ	バナナ	<i>Musa</i> spp.
バショウ	ニコライ	<i>Strelitzia niccolai</i> Regel et Korn.
バショウ	ゴクラクチョウカ	<i>Strelitzia reginae</i> Ait.
バショウ	ユンケア	<i>Strelitzia reginae</i> var. <i>junceae</i> (Ker-Gawl.) H. E. Moore
バラ	ヒメシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> (Hook. et Rehd)
パンヤ	パキラ	<i>Pachira aquatica</i> Aubl.
パンヤ	トックリキワタ	<i>Chorisia speciosa</i>
パンレイシ	チェリモヤ	<i>Annona cherimola</i> Mill.
パンレイシ	アテモヤ	<i>Annona atemoya</i> hort.
パンレイシ	イランイラン	<i>Cananga odorata</i>
ヒガンバナ	クンシラン	<i>Clivia miniata</i> Regel
ヒガンバナ	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Bak.
ヒユ	アルテルナンテラ	<i>Alternanthera ficoidea</i> (L.) R. Br. ex Roem. Et Schult.
フトモモ	キンボウジュ	<i>Callistemon speciosus</i> (Sims) DC.
フトモモ	ユーカリノキ	<i>Eucalyptus</i> spp.
フトモモ	ビタンガ	<i>Eugenia michelii</i> Lam.
フトモモ	フェイジョア	<i>Feijoa sellowiana</i> O. Berg.
フトモモ	メラレウカ	<i>Melaleuca</i> spp.
フトモモ	ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.
フトモモ	テリハバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab.
フトモモ	キミノバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab. Var. <i>lucidum</i> hort.
フトモモ	グァバ	<i>Psidium guajava</i> L.
フトモモ	ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i> Alston
フトモモ	フトモモ	<i>Syzygium jambos</i> (L.) Alston
フトモモ	ジャボチカバ	<i>Myracia couliflora</i> O.Berg
ベンケイソウ	カゲツ	<i>Crassula portulacea</i> Lam.
ベンケイソウ	カランコエ	<i>Kalanchoe blossfeldiana</i> Poelln.
マメ	ソウシジュ	<i>Acacia confusa</i> Merrill
マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.
マメ	バウヒニア	<i>Bauhinia</i> spp.
マメ	カリアンドラ	<i>Calliandra</i> spp.
マメ	コバノセンナ	<i>Cassia coluteoides</i> Collad.
マメ	ナンバンサイカチ	<i>Cassia fistula</i> L.
マメ	サンゴシトウ	<i>Erythrina</i> × <i>bidwillii</i> Lindl.
マメ	アメリカデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L.
マメ	マルバデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L. 'Maruba-Deiko'
ミカン	シロサボテ	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.
ミソハギ	メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i> H. B. K.
ミソハギ	ハナヤナギ	<i>Cuphea micropetala</i> H. B. K.
ムクロジ	リュウガン	<i>Euphoria longan</i> Lam.
ムクロジ	ライチ	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.

研究活動

モクセイ	シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C. B. Clarke
モクセイ	ハゴロモジャスミン	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.
モクマオウ	モクマオウ	<i>Casuarina stricta</i> Ait.
ヤシ	アカントフィラ	<i>Aiphanes acanthophylla</i> (Mart.) Burret
ヤシ	ユスラヤシ	<i>Archontophoenix alexandrae</i> (F. J. Muell.) H. Wendl. et Drude
ヤシ	ピンロウジュ	<i>Areca catechu</i> L.
ヤシ	ジョオウヤシ	<i>Arecastrum romanzoffianum</i> (Cham.) Becc.
ヤシ	サトウヤシ	<i>Arenga pinnata</i> (Wurmb) Merrill
ヤシ	クロツグ	<i>Arenga tremula</i> (Blanco) Becc. var. <i>engleri</i> (Becc.) Hatus.
ヤシ	ボンネッティー	<i>Butia bonnetii</i> (Becc.) Becc.
ヤシ	ブラジルヤシ	<i>Butia capitata</i> (Mart.) Becc.
ヤシ	クジャクヤシ	<i>Caryota mitis</i> Lour.
ヤシ	チャボトウジュロ	<i>Chamaerops humilis</i> L.
ヤシ	アレカヤシ	<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendle.
ヤシ	デュシアナ	<i>Coccothrinax dussiana</i> L. H. Bailey
ヤシ	ココヤシ	<i>Cocos nucifera</i> L.
ヤシ	テーブルヤシ	<i>Collinia elegans</i> (Mart.) Liebm. ex Oerst.
ヤシ	シロロウヤシ	<i>Copernicia alba</i> Morong
ヤシ	ヒメショウジョウヤシ	<i>Cyrtostachys lakka</i> Becc.
ヤシ	ベガニー	<i>Drymophloeus beguinii</i> (Burret) H. E. Moore
ヤシ	ケンチャヤシ	<i>Howea belmoreana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.
ヤシ	ヒロハケンチャヤシ	<i>Howea forsteriana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.
ヤシ	マルハウチワヤシ	<i>Licuala grandis</i> H. Wendl.
ヤシ	シナビロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R.Br.ex Mart.
ヤシ	ピロウヤシ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.)
ヤシ	オガサワラピロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.)R. Br. ex Mart var. <i>boninensis</i> Becc.
ヤシ	トゥクリヤシ	<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey
ヤシ	トゥクリヤシモドキ	<i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey
ヤシ	ヴェデリアヌム	<i>Microcoelum weddellianum</i> (H. Wendl.) H. E. Moore
ヤシ	ミツヤヤシ	<i>Neodypsis decaryi</i> Jumelle
ヤシ	キリンヤシ	<i>Phoenicophorium borsigianum</i> (K. Koch) Stuntz
ヤシ	カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis</i> hort. ex Chabaud
ヤシ	ナツメヤシ	<i>Phoenix dactylifera</i> L.
ヤシ	カブダチソテツジュロ	<i>Phoenix reclinata</i> Jacq.
ヤシ	シンノウヤシ	<i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien
ヤシ	サトウナツメヤシ	<i>Phoenix sylvestris</i> (L.) Roxb.
ヤシ	ヒメヤハズヤシ	<i>Ptychosperma elegans</i> (R. Br.) Blume
ヤシ	シュロチクヤシ	<i>Ptychosperma macarthurii</i> (H. Wendl.) Nichols.
ヤシ	カンノンチク	<i>Rhapis excelsa</i> (Thunb.) A. Henry
ヤシ	シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume
ヤシ	フロリダダイオウヤシ	<i>Roystonea elata</i> (Bartr.) F. Harper
ヤシ	サバルヤシ	<i>Sabal</i> spp.
ヤシ	ヤエヤマヤシ	<i>Satakentia liukiuensis</i> (Hatsu.) H. E. Moore
ヤシ	コバナクマデヤシ	<i>Thrinax parviflora</i> Swartz
ヤシ	マニラヤシ	<i>Veitchia merrillii</i> (Becc.) H. E. Moore
ヤシ	ウイニン	<i>Veitchia winin</i> H. E. Moore
ヤシ	タケウマキリンヤシ	<i>Verschaffeltia splendida</i> H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシ	<i>Washingtonia filifera</i> (Linden ex Andre) H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシモドキ	<i>Washingtonia robusta</i> H. Wendl.
ヤマノイモ	カシュウイモ	<i>Dioscorea bulbifera</i> L.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea cayenensis</i> Lam.
ヤマノイモ	トゲドコロ	<i>Dioscorea esculenta</i> (Lour) Burk.

ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea opposita</i> Thunb.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea rotundata</i> Poir.
ヤマノイモ	ダイジョ	<i>Disocorea alata</i> L.
ヤマモガシ	マカダミアナッツ	<i>Macadamia integrifolia</i> Maiden et Betche
ユキノシタ	サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. f.plena (Maxim.) C.K. Schneid.
ユリ	キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i> Mill.
ユリ	アロエ	<i>Aloe</i> spp.
ユリ	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i> Blume
ユリ	オリズルラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques
ユリ	十二の巻	<i>Haworthia fasciata</i> (Willd.) Haw.
ユリ	ソキアリス	<i>Ledebouria socialis</i> (Bak.) Jessop
ラン	ホウサイラン	<i>Cymbidium sinense</i> (Andr.) Willd.
ラン	オンシジューム	<i>Oncidium</i> spp.
ラン	バニラ	<i>Vanilla planifolia</i> G. Jacks.
ラン	トックリラン	<i>Beaucarnea recurvata</i>
リュウゼツラン	リュウゼツラン	<i>Agave</i> spp.
リュウゼツラン	センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
リュウゼツラン	センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
リュウゼツラン	ベニフクリンセンネンボク	<i>Doracaena concinna</i> Kunth
リュウゼツラン	シロシマセンネンボク	<i>Doracaena deremensis</i> Engl.
リュウゼツラン	ギンヨウセンネンボク	<i>Doracaena sanderiana</i> hort. Sander ex M.T. Mast.
リュウゼツラン	レフレクサ	<i>Dracaena reflexa</i> Lam.
リュウゼツラン	ハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Hahnii'
リュウゼツラン	トラノオ	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Laurentii'
リュウゼツラン	ゴールドデンハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Golden Hahnii'

1. 指宿植物試験場で保存栽培している主な植物を掲載したが、品種、系統については原則として除外した。
2. 科名、和名、学名については以下の書籍を参考にし、明確な和名が無いものは文献1を主に参考した。

参考文献

1. 塚本洋太郎総監修：園芸植物大事典 1 - 6巻 小学館. 1990
2. 熱帯植物研究会編：熱帯植物要覧 大日本山林会. 1984
3. 土橋 豊：観葉植物1000 八坂書房. 1992
4. 農林省熱帯農業研究センター：東南アジアの果樹. 農林統計協会 1974

3) 入来牧場

・トカラ馬 (*Equus caballus*)

日本に現存する8種類の在来馬の一つで、1953年9月に鹿児島県の文化財として天然記念物に指定された。現在の生息数は100頭前後で、そのうち約半数が鹿児島大学附属農場で飼育・増殖されている。

・口之島野生化牛 (*Bos Taurus*)

日本に現存する2種類の在来牛の一つで、現在、その生息数は100頭前後で、そのうち約10頭が鹿児島大学附属農場で飼育されている。現在、絶滅の危機に瀕しており、鹿児島大学において保護と増殖のための取り組みを行っている。